



九州歴史資料館移転開館10周年記念特別展

『福岡の至宝に見る信仰と美』

令和2年10月6日(火)～11月29日(日)に開催

福岡ゆかりの遺宝名宝が里帰り！

今年は九州歴史資料館がかつてあった太宰府市から今の小郡市に移転してから10年の節目の年となります。それを記念して、福岡の至宝を里帰りさせた展覧会を開催いたします。本展覧会では、福岡に関係する遺跡の出土品、福岡にかつてあった、もしくはかつて作られたもののなかで、事情があり福岡を離れた文化財「福岡の至宝」を、「信仰と美」というキーワードをもとに作品を展示いたします。

考古、歴史、美術、工芸など各分野の作品を七章（第一章：祭祀と美の萌芽、第二章：経塚遺宝、第三章：古代文書に見る大宰府と寺社、第四章：円珍・円爾の事蹟、第五章：華開く信仰の美、第六章：芦屋釜と茶道具の美、第七章：黒田家の名宝）に分けてお楽しみいただきます。また、今回の展示では、国立文化財活用センターの東京国立博物館に関する文化財の貸与活用事業に選定され、27件の作品が東京国立博物館から貸し出されます。さらに、京都国立博物館、奈良国立博物館、文化庁などが所有する作品が並び、東京・京都・山口・熊本など各地の公立博物館や私立美術館などから全部で89件、国宝6件、重要文化財22件、重要美術品2件を含む至宝が福岡に里帰ります。



重要文化財 霧地楓唐図真形釜
室町時代 京都・細見美術館所蔵

記念講演会① 令和2年10月31日(土)

「茶陶から見た高取・上野焼」

講師：伊藤 嘉章さん

(愛知県陶磁美術館総長・町田市立博物館長)

記念講演会② 令和2年11月22日(日)

「新出・藤原定家本源氏物語『若紫について』」

講師：藤本 孝一さん

(龍谷大学客員教授・元文化庁主任文化財調査官)

特別展開連のタペのギャラリートーク(16:30～17:00)

- 第6回 特別展Part.1 令和2年10月23日(金) 講師：遠藤 啓介(当館学芸員・工芸)
- 第7回 特別展Part.1 令和2年10月30日(金) 講師：遠藤 啓介(当館学芸員・工芸)
- 第9回 特別展Part.2 令和2年11月20日(金) 講師：松川 博一(当館学芸員・歴史)
- 第10回 特別展Part.2 令和2年11月27日(金) 講師：松川 博一(当館学芸員・歴史)

考古

弥生・古墳の至宝が大集合!

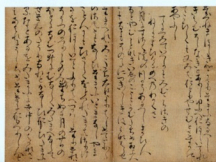


《鍮金方格矩四神鏡》
古墳時代前期・4世紀
京都大学総合研究博物館所蔵

糸島市の一貴山鏡子塚古墳から出土した十面の鏡の内的一面。本古墳の発掘で十面の銅鏡が被葬者の上半身を囲うように配置され、本銅鏡は頭部近くに置かれており、さらに鏡全面を鍮金する別仕様の鏡です。古墳時代研究の学史上名を残す古墳です。

歴史

福岡藩主が旧蔵した、新発見の『源氏物語』最古の写本を特別公



《藤原定家本 源氏物語 若紫 1帖》
黒田継高旧蔵、大河内家伝来
鎌倉時代・13世紀 個人所蔵

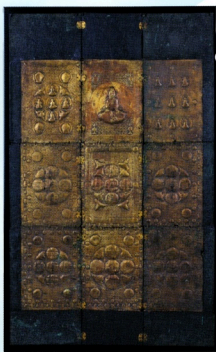
一条天皇の中宮・藤原彰子に仕える紫式部が著した『源氏物語』54帖(巻)のうち、5巻目の若紫の帖の写本で、藤原定家(1162-1241)が校訂した定家本の一つ。この定家本の若紫は、昨年、新たに発見された写本で、寛保3年(1743)に福岡藩主黒田継高から、老中であつた大河内家の松平祝祝に譲渡され、大河内家に伝来しました。

県外の至宝・名品が 帰ってくる!

美術

故郷筑後への帰還

銅板に刻まれた雙茶羅です。普通雙茶羅は、絹や紙に絵の具で描かれるので、これは大変珍しい作品です。茨城県の徳満寺の所蔵ですが、元々は建久5年(1194)に、筑後の清楽寺のために作られたものでした。清楽寺は今小さな御堂をのこすのみです。いつしか雙茶羅は筑後を離れて旅をして、茨城に辿り着いたようです。



《金銅板両界曼茶羅》 茨城・徳満寺所蔵

工芸

九歴での茶道具の展示は史上初!



《黒糸茶碗》
銘「紙屋黒」
安土桃山時代 16世紀
静嘉堂文庫美術館所蔵

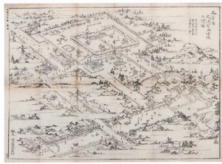
博多の豪商だつた神屋宗湛がかつて所持していたという茶碗であることから銘がつけられている。茶碗の初代・長次郎(生年不詳~天正18年(1589))の作とされる。作品を持ったときには手のひらに収まり、しっかりとくる茶碗であり、茶碗初期の名品です。

九歴名品探訪 vol.11

❖ 太宰府天満宮御境内之絵図

当館では、近世・近代に作られた県内の寺社の一枚刷り境内絵図を多く所蔵しています。このような絵図は、参拝客が参詣みやげとして買い求めたと思われるもので、当時全国的によく制作されていました。当館所蔵の絵図には、太宰府天満宮の作例が特に数多くあるのですが、今回ご紹介する作品は、その中でも正確な年記が確認できるもっとも古いもので、江戸時代後期の文政2年の発行となっています。

本図では、画面の中央上部に太宰府天満宮の本殿を据え、境内を広く俯瞰して描いています。参道を進んで延寿王院の前で直角に曲がり、心字池にかかるふたつの反り橋を渡って本殿にいたるという参拝の道程は、現在と大きくは変わらないことが見てとれます。しかしよく見れば、今は失われた観音堂や仁王門などの仏教的建造物が描かれており、明治の神仏分離を迎える前の、神仏が共存していた時代の天満宮の様子を偲ぶことができます。制作当時流行していた、太宰府天満宮に参拝しその周辺を観光する「さいふまわり」の関連資料としてはもちろん、まだ写真が普及していなかった時代の天満宮の姿を知る手がかりともなる貴重な作品です。



《太宰府天満宮御境内之絵図》文政2年(1819)
紙本木版刷り・めくり 一枚 42.4cm×58.4cm



当館では、第1展示室の雰囲気演出する天井照明をLED方式に改修しました。改修は方式の変更だけではなく、暖かい光から、白色のクールな印象へと変えました。実はこうした光色の違いは、人に心理的に影響を与えます。人は進化の過程で、明るい光＝太陽光、暗い光＝炎、という光の生活から、明るい光は上方、暗い光は下方にある方が落ち着くといわれています。

今回、天井を明るい光とし、床や展示ケースの暗めの色と対照させることで、落ち着いて資料を鑑賞できるようになったと思います。光色の違いが人の視覚に影響を与える知見を利用した工夫の一つです。

また、照明による資料の劣化を防ぐために、当てる光の量（照度）を制限しています。例えば古文書や絵画の照度は、エントランスホールの約20%です。数値としては、かなり暗いでしょう。しかし、人が目にする明るさは、光が物体に反射して目に入る光の強さです。ここで照度とは、資料に届いている光の量であり、実際に人の目に届く明るさは、空間を構成する壁や天井の表面反射も加わります、これを利用すると、調整した照度よりも明るく感じられます。そこで、展示ケースや展示台のクロスを白色にし、さらに模様により、光を反射しやすくしています。天井も白色にし、室内全体で明るく感じてもらえるインテリアを作り出しています。このように展示室の照明は、資料への影響を最小限に抑えながら、資料への効果を最大限に引き出せるよう、科学的な知見を利用し、人にも、資料にも優しい工夫を施しています。

この秋、当館では、全国から福岡ゆかりの名宝が一堂に会します。みなさんと名宝との新たな出会いのため、私たちは少しでも快適に鑑賞していただく工夫をし、展示室でお待ちしております。



展示紹介

2020年度下半期に開催する展覧会

- 企画展：「福岡の古代豪族」
会期 9月15日(火)～11月29日(日) 会場 第2・4展示室
- 企画展：「古代・中世の人々と暮らし」
会期 12月 1日(火)～ 3月21日(日) 会場 第2・4展示室
- 企画展：「朝鮮通信使と福岡」
会期 12月12日(火)～ 2月14日(日) 会場 第1展示室
- 企画展：「九州北部の経簡遺宝」
会期 12月12日(火)～ 2月28日(日)
- 企画展：「三池港と洞海湾～明治日本の産業革命遺産」企画展3～
会期 2月17日(水)～ 3月14日(日) 会場 第1展示室
- パネル展：「世界遺産 沖ノ島」
会期 9月15日(火)～11月29日(日) 会場 文化情報ひろば
- パネル展：「新九州歴史資料館10年のあゆみ」
会期 10月 6日(火)～11月29日(日) 会場 第1・3展示室廊下
- パネル展：「邪馬台国への 前編(再)」
会期 12月 1日(火)～ 3月28日(日) 会場 文化情報ひろば

左：「朝鮮人帰国記」巻一（表紙）
中央：「朝鮮人來聘記」巻七
（副使船難破の記録）
右：「朝鮮人來聘記」巻一（表紙）



10周年記念イベント

11月8日(日) 10:00～16:00

会場：九州歴史資料館

筑前博多独楽の公演と体験ブースからなる1日楽しめるイベントで、10周年を祝います。公演観覧料・体験はすべて無料です。



太宰府跡・水城史跡指定100周年記念式典・シンポジウム

2021年3月6日(土) 13:00～16:40

会場：プラムカルコア太宰府

令和2年度は大宰府跡・水城跡がわが国最初の史跡になって100周年に当たります。これを記念して式典とシンポジウムを開催します。



九州歴史資料館		行事・事業予定	
展 示	常 設 展:	12月12日(土)～3月31日(水)「歴史の宝石箱」	
	特 別 展:	10月6日(火)～11月29日(日)「福岡の宝室に見る信仰と美」	
	企 画 展:	9月15日(火)～11月29日(日)「福岡県の古代家族」 12月1日(火)～3月21日(火)「古代・中世の人々の暮らし」 12月12日(土)～2月14日(日)「朝鮮通信使と福岡」 2月17日(水)～3月14日(日)「三池港と洞海湾～明治日本の産業革命遺産」企画展3～」	
	特 集 展 示:	2月17日(水)～3月14日(日)「北部九州の経塚遺宝」	
	パ ネ ル 展:	9月15日(火)～11月29日(日)「世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群」 10月6日(火)～11月29日(日)「新九州歴史資料館10年のあゆみ」 12月1日(火)～3月28日(日)「邪馬台国への道(前編)」 3月30日(火)～3月31日(水)「保存科学成果展～古賀市船原古墳遺物埋坑調査の最新報～2019～2020」	
	古代体験	毎週土・日及び祝日の九歴ボランティアによる古代体験休止中(状況により一部再開)	
	講座・イベント	九 歴 講 座:	毎月第2土曜日。定員80名。要事前申し込み、13時より開場
		特別講演会:	10月31日(土)特別展開催記念講演会1「茶陶から見た高取・上野焼」 11月22日(日)特別展開催記念講演会2「新出・藤原定家本源氏物語『若菜について』」
		九 歴 ゼ ミ:	10～12月「大宰府・太宰府天満宮史料を読む～大宰府の歴史編～」 1～3月「中国隋唐史概説」 (いずれも水曜日。定員50名。要申込。申込多数の場合は先着順)
		タベのギャラリー→	10月16日(金)・11月13日(金)企画展「福岡の古代家族」 10月23日(金)・10月30日(金)特別展「福岡の宝室から見た信仰と美」Part.1 11月20日(金)・11月27日(金)特別展「福岡の宝室から見た信仰と美」Part.2 1月29日(金)・2月5日(金)企画展「朝鮮通信使と福岡」 2月19日(金)・2月26日(金)常設展「彫刻部門」 3月19日(金)・3月26日(金)常設展「地図部門」
イ ベ ン ト:		10月4・18日(日)キッズミュージアム2020 親子で堅住居組み立て&弓矢体験 11月1・15日(日)キッズミュージアム2020 My石庭丁で収穫体験 11月8日(日)九州歴史資料館移転開館10周年記念イベント 11月21日(土)アクロスミュージアムコンサート(アクロス福岡と共催) 12月6・20日(日)キッズミュージアム2020 紙漉しからの年賀ハガキ作り 1月17・31日(日)キッズミュージアム2020 バックヤードツアー&クイズラリー 2月7・21日(日)キッズミュージアム2020 土器作り体験 3月7・21日(日)キッズミュージアム2020 拓本ブックカバー作り	
発掘調査		大宰府史跡調査(蔵司地区)・三沢遺跡調査・県内遺跡発掘調査4月～3月	

★日程未定については、決まり次第当館ホームページや館内配布チラシ等でお知らせします。また、内容・開催期間は変更することがあります。詳しくはお問い合わせください。

求 晋 提 資 料 館 〒828-0085 新都市大野井町 247 TEL・FAX 0979-88-3203	常 設 展：「求菩提修験道の世界」 企 画 展：10月10日(土)～11月29日(日)秋の企画展「お茶～求菩提に伝わった茶とその未来～」 1月30日(土)～ 3月21日(日)早春企画展第14回「おひなまつり」 市民歴史講座：10月17日(土)「発掘に見る中世の豊前」11月14日(土)「八幡信仰と放生会」 史跡ガイド活動：申し込みに応じて豊前の史跡をガイドします。
甘 木 歴 史 資料 館 〒838-0068 朝倉市甘木 216-2 TEL・FAX 0946-22-7515	常 設 展 第一展示室「朝倉の民衆・歴史資料」 第二展示室「朝倉の考古資料」(企画展開催時には一部展示替えあり) 企 画 展 10月13日(土)～12月6日(日)秋季企画展「木校校りの美-田中コレクション特別展示-」 1月9日(土)～ 3月7日(日)新春企画展「郷土の日本画家・徳田玉龍Part6(仮)」 ひみこ講座：前期「朝倉考古の最前線」10月11日(日) 1月 8日(土) 12月13日(日) 後期「朝倉の美術工芸品」1月17日(日)・ 2月21日(日) 各回定員50名(要申込)
柳 古 文 書 館 〒832-0021 柳川市志戸 71-1037 TEL 0944-72-7137 0944-72-5559	常 設 展：5月19日(火)～ 9月27日(日)「古文書をたのしむ-見方・読み方・調べ方」 企 画 展：10月 1日(木)～ 11月29日(日)「柳川の自由民権運動」 2月11日(木)～ 3月31日(木)「松井家・立石家のおひな様」 特 別 展：12月 4日(金)・ 2月 7日(日)「柳川再訪400年記念特別展「復活の大名 立花宗茂」 古文書解説講座：毎月1回(第4日曜日) ※応募は締め切ります。

※各館の行事や休館日(閉室)等については、各館ホームページまたは直接お問い合わせください。

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒 838-0106
福岡県小郡市三沢 5208-3

☎ 0942-75-9575

FAX 0942-75-7834

URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kvureki/>

開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)
観覧料 一般120(150)円 大学生・高校生150(100)円
満65歳以上・中学生以下・障がいのある方(同伴介護者1名)無料
※土曜日は高校生も無料
※()内は団体料金(20名以上)
休館日 月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)

休館日 月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)



●公共交通機関

《西鉄電車》天神大牟田線三国ヶ丘駅から徒歩約10分
 《JR》鹿児島本線原田駅からタクシーで約10分
 《小都市コミュニティバス》東野・美鈴ヶ丘ルート「九州歴史資料館」下車
 西鉄三国ヶ丘駅西口から約3分(9:57・15:09)
 日祝運休

●自動車

《九州自動車道》筑紫野I.C.から鳥栖筑紫野道路経由で約15分
《大分自動車道》筑後小郡I.C.から国道500号線・県道88号線経由で約15分
《福岡都市高速》水城出口から国道3号線経由で約25分

